

# もばら 議会だより

第107号  
平成23年2月15日

発行 茂原市議会報編集委員会

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話 0475-20-1585

FAX 0475-20-1611

<http://www.city.mobara.chiba.jp/>

## 一般会計補正予算など 4議案を可決

市道1級14号線  
(長尾地区)拡幅について

山田 きよし 議員

(緑風会)

平成22年第4回定例会は、11月30日から12月15日までの会期16日間で開かれました。

この定例会では、市長から平成22年度茂原市一般会計補正予算を初めとした予算関係4議案並びに長生郡市広域市町村圏組合規約の変更に関する協議など計9件の議案が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

### 12月定例会

## 一般質問

12月定例会における一般質問は、12月8日、9日、10日の3日間にわたり9名の議員により行われました。

### 債務の償還と新規事業について

前田 正志 議員

(もばら21)

問 茂原市が抱える債務の償還(借金の返済)は重要な課題だが、同時に生活道路や排水施設の整備、教育や福祉の充実等の住民からの要望は高まっている。債務がどの水準まで償還できたら新規事業に取り組めるのか伺いたい。

答 健全な状態の判断は難しいが、一つの数値目標として、平成21年度末現在、約161億円で

ある茂原市土地開発公社に係る債務負担行為残高が2分の1程度になれば、金利負担も軽くなり、新規事業に取り組める時期ではないかと考えている。今流れで試算すると平成30年頃となるが、PFI方式等の資金調達方法もあるので、これらを活用した新規の事業実施も研究していくたいと考えている。

厳しい財政状況は今後も引き続いていると予想されるが、税収等歳入の増加に努めるとともに、経費の削減や事業の選択と集中を図り、安定的な財政運営に努めていくことが健全な状態へとつながっていくと考えている。

答 茂原市が抱える債務の償還(借金の返済)は重要な課題だが、同時に生活道路や排水施設の整備、教育や福祉の充実等の住民からの要望は高まっている。債務がどの水準まで償還できる。債務がどの水準まで償還できたら新規事業に取り組めるのか伺いたい。

答 健全な状態の判断は難しいが、一つの数値目標として、平成21年度末現在、約161億円で

は、県道14号線について、県道茂原環状線との交差点から長尾橋神社方面の620mを一期区間として、平成2年から幅員16mの両側歩道での整備に着手し、平成11年度に完了している。また、平成10年度から二期区間として、大登の閑谷商店街に向けての680mを事業着手し、用地協力が得られた部分の工事を実施したが、残りの部分は用地協力が得られず、現在は事業休止となっている。しかし、この路線は圏央道へのアクセス道路であり、長尾橋神社付近のカーブがきつく、事故も発生している状況であるので、早期の事業再開に向けて努力している。

答 赤目川の改修工事については、県事業で総延長7.7kmうち、JR外房線までの6.7kmを早期完成に向けて実施している。進捗状況としては、護岸工事が南白龜川合流点から上流への約4km、橋梁改築は12橋うち4橋、堰改築は8箇所のうち5箇所が完成し、現在、6箇所の桂島堰本体工事の着手、越場橋築造に伴う仮設橋等、迂回

その他の質問事項  
・行政改革について  
・安心安全のまちづくりについて  
・医療福祉・防災  
・地域振興について(圏央道・定住促進等)

現在休止中の長尾橋神社付近はカーブがきつく危険である。圏央道のアクセス道路でもあり早期の再開を。拡張予定内の消防機庫に従事する消防団員の人身事故を含む交通事故が4回発生。団員が安心して活動できる安全な所に消防機庫移転を。

答 市道14号線については、県道茂原環状線との交差点から長尾橋神社方面の620mを一期区間として、平成2年から幅員16mの両側歩道での整備に着手し、平成11年度に完了している。また、平成10年度から二期区間として、大登の閑谷商店街に向けての680mを事業着手し、用地協力が得られた部分の工事を実施したが、残りの部分は用地協力が得られず、現在は事業休止となっている。しかし、この路線は圏央道へのアクセス道路であり、長尾橋神社付近のカーブがきつく、事故も発生している状況であるので、早期の事業再開に向けて努力している。

答 赤目川の改修工事については、県事業で総延長7.7kmうち、JR外房線までの6.7kmを早期完成に向けて実施している。進捗状況としては、護岸工事が南白龜川合流点から上流への約4km、橋梁改築は12橋うち4橋、堰改築は8箇所のうち5箇所が完成し、現在、6箇所の桂島堰本体工事の着手、越場橋築造に伴う仮設橋等、迂回

## 都市土木行政について

田辺 正和 議員

(公明党)

問 十月の大雨で本納駅構内は冠水し、列車に運休、遅れが生じた。そこで赤目川や調節池の現状と今後の見通しを伺いたい。また、街路小林浜町線整備事業の見通しと、歩道整備の実施箇所も含めた今後の計画について伺いたい。

答 赤目川の改修工事については、県事業で総延長7.7kmうち、JR外房線までの6.7kmを早期完成に向けて実施している。進捗状況としては、護岸工事が南白龜川合流点から上流への約4km、橋梁改築は12橋うち4橋、堰改築は8箇所のうち5箇所が完成し、現在、6箇所の桂島堰本体工事の着手、越場橋築造に伴う仮設橋等、迂回

その他の質問事項  
・防災士養成について  
・災害対策コアティネーター養成について  
・地域整備について  
・リンクフル回収による車イス提供について

に協議するとともに、地元消防団の意見を伺いながら進めることになるが、現在、事業休止の状況で協議をしていないので、今後、消防本部との協議を進めていきたいと考えている。